

無火災の町を目指して

沼田消防出初式

1/8

1月8日(木)、ふれあい前の駐車場において、平成27年深川地区消防組合沼田消防出初式が行われました。

式典には消防団員や来賓など約160名が参加。渡辺団長が「昨年、沼田町では3件の火災があったが、町民の助けで被害を最小限に抑えることが出来た。これも町民の防火意識の高さの賜物」と挨拶。金平町長は「消防団員は地域防災の要。今年は災害の無い一年になるように祈っています」と団員を激励しました。

その後、本通に移動して分列行進を行い、場所を町民会館に移してから、北海道知事表彰など、約60名に表彰状などが手渡されました。



▲分列行進の様子

丹精込めて手作り

産直グループ「愛菜ママ」が味噌作り

1/15



▲地域おこし協力隊の関本さんも参加しました

1月15日(木)にJ A北いぶき沼田支所農産加工場で、沼田町産直グループ愛菜ママ(植木千鶴代表)による「無添加手づくり愛菜みそ」の仕込みが行われました。

この日は、地域おこし協力隊の参加もあり、100%近い湿度の中で特裁こうじを使用したみその仕込みを行い、3日間で約17kgの樽を50樽作り販売します。

愛菜ママは、沼田町で太陽をいっぱい浴びて元気に育った低農薬野菜を全国に宅配販売しているグループで、今年で20年目を迎え7人で活動しています。

豪快で華麗な包丁使い

和風園でマグロの解体ショー

1/23



▲大きな歓声が上がったマグロの解体

1月23日(金)、養護老人ホーム「和風園」で入所者に楽しんでもらうためマグロの解体ショーが行われました。

入所者や職員約90名が見守る中、グアム沖でとれた重さ約40kg、大きさ1m50cmの本マグロを、ほろしん温泉ほたる館の金子孝志料理人が豪快に4枚にさばき、入所者や職員から大きな歓声が上がっていました。

さばかれたマグロは1月生まれの誕生会の昼食に刺身として振舞われ、新鮮な海の味覚を堪能していました。

一足早いクリスマスプレゼント

北海道コカコーラボトリング(株)がプレゼント

12/17



▲プレゼントを受け取る郷古会長

12月17日(水)北海道コカコーラボトリング(株)から社会貢献活動の一環として、沼田町社会福祉協議会(郷古一会長)に清涼飲料水20ケースがプレゼントされました。

一足早いクリスマスプレゼントとして道内の福祉施設の子どもやお年寄りに清涼飲料水を昭和43年から毎年届けています。受け取った郷古会長は「毎年皆さんが楽しみに待っています。いつもありがとうございます。」とお礼を述べました。プレゼントされた20ケースは旭寿園や和風園などの老人ホームに配られました。

貴重な体験を報告

ポートハーディ派遣・受入交流事業報告会

12/24



▲報告を行った11名のメンバー

12月24日(水)、ゆめっくるでポートハーディ派遣、受入交流事業の報告会が開催されました。

本年姉妹都市提携を結んで20年を迎えるポートハーディ地区を10月に訪問した11名のメンバーが、現地での交流の様子や思い出を報告しました。日暮教育委員長が「不安と期待があったと思いますが、今回体験したことを多くの人に伝えてほしい。」と挨拶しました。報告会では現地でのホームステイの様子や、現地の学校で授業に参加した様子などを、日本との違いなどを挙げて報告していました。

今年の火文字は「蛭」

年越しイベント「温故知新」

12/31

12月31日(水)から1月1日(木)にかけて、年越しイベント「温故知新」(同実行委員会主催)が沼田神社境内、五カ山牧場で開催されました。

北海道神宮からの「御神火」を3名の有志(役場:松坂一樹さん、教育委員会:富田匠さん、商工会:藤崎悠さん)が前日から歩いて、五カ山牧場の火文字「蛭」の字に灯すため沼田町まで届けました。

沼田神社の特設会場では来場者に温かい飲み物が振舞われるなど、今回で18回目の開催となった同イベントは、多くの来場者で賑わいました。



▲「蛭」の火文字をバックに左から、富田さん、松坂さん、藤崎さん

コンパクトエコタウン構想

つながる塾報告会

2/10

2月10日(火)、ふれあい塾つながる塾の報告会が開催されました。「つながる塾」は今年の8月からテーマごとにチームを組み、暮らしやすさや地域の活性化を目指してアイデアを話し合ってきました。

報告会では約40名が7つのテーマに沿って検討を重ねた結果を寸劇を交えて報告し、今後もアイデアで出された交流サロンや話し合いを行い、実現に向けて活動が展開される予定です。



▲寸劇を交えて笑いを取り入れた報告会になりました

優勝目指して

高穂スキー場まつり開催

2/11

2月11日(水)、沼田町体育協会(高田勲会長)が主催する「第16回高穂スキー場まつり」が開催されました。

この日はスキー大会の開催や無料レッスンが行われたほか、リフトが無料開放され、親子連れのスキーヤーやスノーボードを楽しむ来場者で賑わいを見せ、ちびっ子向け企画の「尻滑り大会」なども盛り上がりを見せていました。

また、昼食にはアツアツの豚汁が来場者に振る舞われ、たっぷりに入った具を来場者たちは美味しそうに頬張っていました。



▲笑顔が溢れる中での開催となりました

施設で大切にに使わせていただきます

J A 北いぶき女性部沼田支部がタオルを寄付

2/5



▲タオルを手渡す渡辺支部長

2月5日(木)、J A 北いぶき女性部沼田支部(渡辺久美子支部長)の新役員7名が、町にタオルの寄付と新役員の挨拶のため町長室を訪れました。

タオルは、毎年寄付をいただいているもので今回も約100枚のタオルを寄付いただきました。

受け取った金平町長は「いつもありがとうございます。大切にに使わせていただきます。」とお礼を述べていました。

タオルは、和風園や旭寿園などの施設で使わせていただきます。

地方創生の総合戦略

「まち・ひと・しごと」創生懇談会を開催

2/6



▲関係者との懇談会

2月6日(金)、人口減少克服を目指す「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方版の総合戦略の策定に向けて、農業、商業、教育関係の皆さんの参加により、ふれあい塾懇談会を開催しました。

金平町長は「地方創生を好機ととらえ、町独自の提案を国にぶつけ、5年後10年後の沼田町を見据えた計画を立てたい。」と呼びかけ、出席した25名と懇談を行いました。

寒さに負けず元気いっぱい!!

沼田保育園で雪中運動会

2/7

2月7日(土)、沼田保育園(土肥芳子園長)で雪中運動会が開催されました。

屋外保育の一環で毎年2月に開催される恒例行事で、親子でそりすべりや、宝探しなどを元気いっぱいに楽しんでいました。



▲元気にそりすべりをする園児

雪に負けずに元気暮らして

各種団体が除雪ボランティアを実施

各種団体が高齢者住宅の除雪ボランティアに汗を流しました。地域貢献の一環として毎年実施され、入居者からは「大変助かります。」と感謝していました。



▲こぶし建設（株）の皆さん



▲沼田技能協会の皆さん



▲スポーツ少年団・中学生・役場青年女性部の皆さん

表彰

各種団体や町内企業・個人の皆さんが各種方面での活躍に対して、表彰されましたのでお知らせいたします。

沼田町議会議長杉本邦雄氏が社会貢献賞を受賞

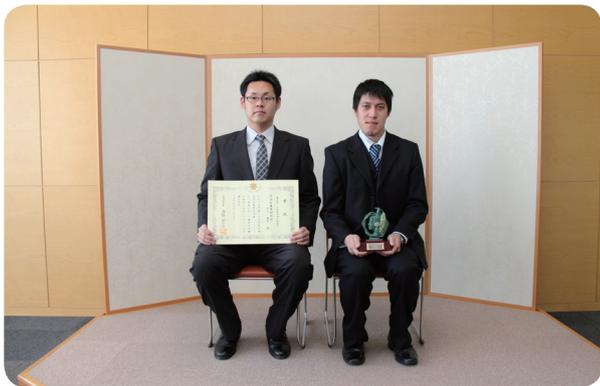


▲受賞された杉本議長

杉本邦雄氏（共成）が北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞しました。

杉本氏は平成7年より現在まで、5期にわたり町議会議員として豊富な経験と卓越した識見をもって住民と行政のパイプ役として、豊かなまちづくりと地方自治の進展に貢献されていることや、本町の基幹産業である農業の振興を図るため、農業者と行政、議会の調整に尽力したことなど数多くの功績が認められ今回の受賞となりました。

北海道青年農業者会議で吉川さんが優秀賞



▲報告に訪れた左から吉川さんと藤田さん

北海道青年農業者会議のプロジェクト発表部門で沼田農業研究会の発表が優秀賞に輝き、今回会議に参加した吉川健幸さん（北竜2）・藤田玄気さん（旭町西）のお二人が金平町長に受賞の報告を行いました。

今回受賞したプロジェクトは土地利用型作物の生育・収量に関連する土壌について調査を行い、各種データの分析等を行った結果を発表されました。